

第6回久留倍官衙遺跡整備検討委員会議事録

日時：平成25年2月3日（日） 午後2時から

場所：四日市市役所 9階 教育委員会室

出席者：整備検討委員会 山中章委員長・黒崎直副委員長・岡田登委員・伊藤久嗣委員・

中川ゆかり委員・箱崎和久委員・中森ゆきこ委員・古市立美委員

アドバイザー 久留倍遺跡運営委員会 西脇壽郎副会長・早川裕己事務局次長

常磐西小学校長 荒木昌俊

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課 竹内英昭副課長・伊藤文彦技師

四日市市教育委員会 社会教育課 伊藤幸子課長・川尻秀納副参事兼課長補佐・

佐々木裕文化財係長・葛山拓也主幹・清水政宏主幹・

五十棲孝子指導主事・石毛彩子主事

株式会社緑景 上田純也・阪口慶次

（3）報告事項

事務局よりエントランス地区の造成工事について説明

（4）協議事項

史跡整備の今後の予定について

（事務局より説明）

A 委員	次年度の文化庁の復元検討委員会の時期はいつか。
アドバイザー-1	はっきりしていないが、来年度になったらいつでも提出できるように準備しておくようにいわれている。
B 委員	平城宮跡大極殿院の関係で聞いたことでは6月終わりか7月と聞いている。
アドバイザー-2	ガイダンスのことについていつまで意見をいえるか。
事務局	建築確認申請の関係で次回まで。
C 委員	来年度の会議はいつごろの予定か。
事務局	第7回は6月末から7月上旬、第8回は具体的には決まっていないが年度後半の予定。

久留倍官衙遺跡史跡整備実施設計について

A H23 基本設計から継続検討となっていた課題

事務局 2点ある。1点目はバーチャル設備のことで、最近実用化しているところもあると聞くが、開発費が1,000万円くらいかかり、技術的にも確立していないので、今回の整備には含めないが、ガイダンスの映像展示とともに研究を続けたい。2

点目は、北勢バイパスの橋脚・橋桁へ描画などをして、損なわれた風景を復元するということであるが、北勢バイパスを管理している国土交通省三重河川国道事務所四日市維持出張所の担当者と協議したところでは、平成 17 年に地元連合自治会・国土交通省・三重県教育委員会・四日市市教育委員会が久留倍の保存協議をする中で、今の色と形に落ち着いたという経緯があり、その中で描画などをする設計になっていないので、安全のためには描画などはしてもらいたくない、あるいは国土交通省はやらないといわれた。所有者の了解が得られないので、描画等はできない。

(バーチャル)

D 委員

バーチャルは、難波宮でやっている。

C 委員

実用化したところから技術を使わせてもらってアレンジすれば、費用はそれほどかからないはず。日進月歩の技術なので、完璧を目指したらできない。結論が早すぎる。

D 委員

今回の計画でできなくても、計画の中につっこんでおかないと予算化が難しい。

C 委員

検討課題として残す。

(北バイ橋脚・橋桁)

C 委員

橋脚・橋桁の問題は、担当者の話で、はいそうですかではいけない。議員をつかって上の方で話をしてもらわないといけない。

E 委員

地元でも橋脚・橋桁は何とかして欲しいと言っている。もう一度検討いただきたい。

B 委員

時代がかわっており、当時はこのような委員会はなかったので、橋桁を通すときに景観のことについて検討していない。もう一度検討してもらいたい。

C 委員

国土交通省ともう一度協議してもらいたい。

事務局

道路と遺跡の共存ということで協議を続けたい。

B 史跡地実施設計について

事務局

2点ある。1点目は正殿のこと。正殿は、外観は当時の建物風として、当時の政庁の様子を想像していただけるようにしたい。内部については、風除けの要望があるので、腰壁と縁台を設置し、基本設計にあるとおり利活用に使のある施設とする。外観が復元風なので、素材を現代のものにして区別ができるようにする。

(正殿)

F 委員

正殿の遺構の上に復元でない建物を建てることは、文化庁から OK は出ているか。

アドバイザー-1

文化庁の調査官に説明しているが、みとめられないという話は出ていない。再度確認する。

F 委員

現代の素材なら何を使うか。

事務局

F 委員

G 委員

F 委員

B 委員

C 委員

(説明板)

H 委員

事務局

B 委員

事務局

F 委員

事務局

B 委員

F 委員

事務局

D 委員

事務局

B 委員

事務局

A 委員

事務局

C 委員

D 委員

地元の要望としては、木材のようにすぐ取り替えなければならないものは困る。

柱は鉄骨で、屋根はガリバリウムの子定。

門もそうだが、基壇の高さはどのくらいか、図に入れて欲しい。

建物があると復元と勘違いされてしまいそうだがどうか。

考え方は2つある。地元の強い要望もあり、建てることが間違いということはない。

説明板で説明したり、利活用で考えていけばよい。暑いし、寒いし建物はあってよい。

イメージ図を作ってもらいたい。説明板で、復元ではないことがわかるようにしてもらいたい。

文化庁に念押しをしてOKであれば、この件については進めてもらう。

説明板が角ばっていて危ないので、角を丸くしてもらいたい。

対応する。

透明説明板のイメージがわからない。

(透明説明板の図を回覧)決まった場所から見ると、遺構平面表示の上に建物が建っている様子が見える。

透明説明板の高さは。

身長125~130cmの小学校3年生程度から見られる高さ。

デメリットもあるかもしれないので、先行事例を聞いて導入できるか検討。

平面的な名称板は設置しないか。

検討する。

説明板が何枚あるかわからず、見落とすかもしれないので、番号を入れて欲しい。

内容のところで入れる。

小さい説明板が政庁域で突出することになる。

政庁は半立体表示なので、立体構造物の近くに設置することで、邪魔にならないようにする。

夜のイベントのときなど、夜でも説明板が見えるように考えてもらいたい。

夜の利用も考えて、正殿の付近に電源はつける予定。

イメージ図を作ってもらいたい。

標柱は、写真がとれるように広場付近に造るなどしてもらいたい。

事務局

全体は図面のとおり。学習展示室は3つのテーマを考えている。学習展示室のおおまかな配置は、入ってすぐの床面に遺構の写真があり、右奥の壁にモニター兼スクリーンがある。各時期の模型もおく。体験学習ができるコーナーも設置する。壁には柱等を表示し、正殿の中を表現する。

建築確認申請の関係で、壁やコンセント、スクリーンなど、建物構造に関わるものについて今回決定したい。

G 委員

壁は土壁か。

事務局

土壁ではない。

B 委員

壁面に柱を表現するのはわかったが、天井はどうするか。壁だけだと違和感があるので天井も床も表現する必要がある。

アドバイザ - 3

本体は鉄骨でいいのでは。

アドバイザ - 2

基本的にすべて反対。四日市初めての国指定史跡に埋文センターを持ってくる心意気はないのか。学習室と展示室が一緒なのが考えられない。面積も狭い。エントランスは5,000 m²あるので、建蔽率を考えても2,000 m²はできる。官衙遺跡だけでなく、他のもの、大矢知のものも展示してほしい。

事務局

全国のガイダンス施設を調べたが、活用内容によって集客が変わる。広さではない。

官衙以外のものについては、ホールや研修室を使用して展示する。

アドバイザ - 2

官衙遺跡のターミナルセンターとしては考えないのか。

事務局

朝明郡内の情報を集めることは考えている。

G 委員

学習展示室はいつも机があるのか。

事務局

机・いすは倉庫にいれる。

G 委員

研修室には机・いすがあるのか。

事務局

研修室にはある。ボランティアの方に来ていただいて研修する。

E 委員

学習展示室はだいたいどのくらいの広さか。

事務局

この部屋よりやや幅が広いくらい。

E 委員

机・いすは倉庫に入れるということだが、衣装やこれから作る甲冑なども入れさせて欲しい。それには、倉庫は狭い。

C 委員

建物の規模から検討し直しになりそうな状況だが、地元の希望で変更できることか。学習展示室の広さについて変更できるのか。

事務局

広さについては変更できない。内部の部屋割りは変えられる。倉庫は、外に仮設的なものを作って置くなどしたい。

A 委員

整備後は運営委員会にいろいろしていただくのに、これまでのような話がでるのが考えられない。教育委員会の説明不足だ。地元やボランティアを大切にしなければならない。

事務局	説明不足はお詫びする。会長と相談して進めていきたい。
E 委員	子どもたちにきてもらって学習を進めていくような話をこれからできるのかと思っていたが、そうでないなら思っているのと違う。地元と協議できる場を作ってもらいたい。
C 委員	遺跡整備は 10 年もたてばボロボロになる。地元の意欲は大事なので、地元と十分つめてもらってその結果を文書でいいから知らせてもらいたい。

政庁東門（八脚門）の復元について

（事務局より説明）

D 委員	東向きの中で、「天武天皇望拝伝説」は迹太川のことなのでやめたほうがいい。ここは朝明郡なので郡名に注目して郡名が東を志向しているとした方がよい。また、交通路については、東海道と決まったわけではないので、東海道・郡伝路と併記した方がよい。
G 委員	鍵は門か。『続日本紀』ではさし降すという表現があるので、そういうものではないか。
B 委員	出土品に門があった痕跡や、門がついた出土例がある。
F 委員	塀はどうなっているか。
事務局	塀は現在検討中である。
B 委員	どう復元するか根拠がない。伊勢神宮を参考にするか。

その他

E 委員	<p>昨年の活動を写真集としてまとめた。</p> <p>今年の久留倍まつりは、11月10日を予定している。ポスターは朝明中学校の美術部のメンバーに頼んでいる。今年は甲冑を作る。</p>
------	--